

市町社協コミュニティソーシャルワーク実践研修会【基礎編】

開催要項

- 1 **目的** 生活困窮者をはじめ、様々な生活上の課題を抱える方への支援を充実するために、社協職員は、早期の日常生活課題の把握、それらを解決するための地域住民を含めた多職種連携、社会資源の活用・調整・開発など「コミュニティソーシャルワーク」の視点に基づく実践が求められています。
そこで、本研修会は、コミュニティソーシャルワークの基礎的な知識や技法を習得し、個々のスキルアップと組織の基盤強化を図ることを目的に開催します。
- 2 **主催** 社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会
- 3 **研修協力** 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所
- 4 **開催日** 令和6年7月29日（月）～30日（火）
- 5 **会場** 愛媛県身体障がい者福祉センター 2階「大会議室」（松山市道後町2丁目12-11）
- 6 **参加対象** 愛媛県内の市町社協職員、社協が運営する地域包括支援センター職員等
 - ・生活困窮者自立相談支援事業における（主任）相談支援員
 - ・介護保険制度における生活支援コーディネーター
 - ・その他、個別支援及び地域支援業務を担当する職員 等（例：福祉活動専門員、ボランティアコーディネーター、介護支援専門員 等）
※「市町社協コミュニティソーシャルワーク実践研修会（基礎編）」に参加済みの方は、本研修会の参加対象となりませんので、10月に開催予定の「市町社協コミュニティソーシャルワーク実践研修会（専門編）」にお申し込みください。
- 7 **定員** 30名
- 8 **参加費** 4,400円（テキスト代）
- 9 **内容** 別紙1「カリキュラム」のとおり
- 10 **申込方法** 下記のGoogleフォームに必要事項をご入力の上、7月3日（水）までにお申し込み（送信）ください。
【申込フォームURL】
<https://forms.gle/Uuh5QwvV1H62E57q8>
【申込フォームQRコード】



また、【基礎編】エントリーシート(左側のみ記入)を作成の上、7月10日(水)までにメールで下記事務局へお送りください。エントリーシートの様式データは、申込フォームに入力いただいたメールアドレスにお送りします。

- 11 事前課題** 参加者には、事前に「演習事例」及び「関連資料」をお送りします。
演習事例を精読いただき、「個別アセスメント」及び「地域アセスメント」を所定のワークシートにまとめて、7月17日(水)までにメールでお送りください。
なお、提出されたワークシートは参加者に配布し、共有します。

12 講師プロフィール (講義及びワークショップ指導)

宮城 孝 (みやしろ たかし) 氏

法政大学現代福祉学部福祉コミュニティ学科教授 博士 (社会福祉学)
特定非営利活動法人日本地域福祉研究所理事長

【専門領域】

地域福祉論 (コミュニティソーシャルワーク、包括的支援システムなど)

【略歴】

東京都中野区社会福祉協議会、日本社会事業大学、神戸山手女子短期大学、東海大学を経て、現在に至る。

【主な著書】

単著『住民力-高齢社会を生き抜く地域のチカラ-』明石書店, 2022年1月刊行

編著

『地域福祉と包括的支援システム-基本的視座と先進的取り組み-』明石書店, 2021年

『仮設住宅 その10年-陸前高田における被災者の暮らし-』御茶の水書房, 2020年(日本不動産学会、都市住宅学会著作賞受賞)

『コミュニティソーシャルワークの新たな展開-理論と先進事例-』中央法規, 2019年

『地域福祉とファンディング-財源確保の方法と先進事例-』中央法規, 2018年

『地域福祉のイノベーション-コミュニティの持続可能性の危機に挑む-』中央法規, 2017年等多数

- 13 情報交換会** 7月29日(月) 18時30分から、1名4,000円程度で別会場にて、情報交換会を開催します。参加については、申込フォームでお知らせください。詳細は、後日ご案内します。

- 14 連絡事項** ご不明な点等ありましたら、事務局までお問い合わせください。

- 15 問合せ先** 愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉課 (担当: 高瀬・葛本)
〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号
TEL 089-921-8912 FAX 089-993-7738
Eメール chiiki@ehime-shakyo.or.jp

(別紙1)

令和6年度市町社協コミュニティソーシャルワーク実践研修会

【基礎編】カリキュラム

【1日目】令和6年7月29日(月)

時間	内容
10:00~	受付
10:30~10:45	開会・オリエンテーション
10:45~12:00	【講義Ⅰ】「地域が取り組む課題とその解決にむけて ～コミュニティソーシャルワークの視点と方法から～」
12:00~13:00	昼食・休憩
13:00~13:30	【実践事例紹介】「先輩からの応援メッセージ」 コミュニティソーシャルワークの先輩から、実践事例の紹介を通して、これから学ぶ皆さんに応援メッセージを送ります。
13:30~13:40	休憩
13:40~15:10	【ワークショップⅠ】「コミュニティソーシャルワークの視点による個別アセスメント」 事例を通して気づきを促す研修方法により「家族全体」を捉える視点を養い、その上で「生活の全体性」や「ストレングス」に配慮しながら、「その人らしさ」に着目した支援計画に結びつけていくための個別アセスメント技法を習得する。
15:10~15:20	休憩
15:20~16:50	【ワークショップⅡ】「コミュニティソーシャルワークの視点による地域アセスメント①」 地域アセスメントの基本的技法を学んだ上で、地域に埋もれた社会資源の活用の可能性を見いだす視点を養い、その上で社会関係を図式化するソーシャルサポートマップの技法や個別ニーズから地域へのアプローチを展開していくための地域アセスメント技法を習得する。
16:50~17:15	【1日目のまとめ】「アセスメントの進め方のポイント」

【2日目】令和6年7月30日(火)

時間	内容
9:30~10:30	【ワークショップⅢ】「コミュニティソーシャルワークの視点による地域アセスメント②」 専門職が向き合っている個別ニーズが、地域の中においてその人や家族だけニーズなのか、同様なニーズを持つ人々が他にもいるのかを検証していくための地域アセスメント技法を習得する。
10:30~10:40	休憩
10:40~12:10	【ワークショップⅣ】「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング①」 個別アセスメントと地域アセスメントの統合によって個別支援と地域支援を結びつける視点を養い、個別ニーズに即した地域へのアプローチによって新たな社会資源を開発していくプロセスを学び、実践仮説に基づいたコミュニティソーシャルワーク実践のプランニング技法を習得する。
12:10~13:00	昼食・休憩
13:00~15:30	【ワークショップⅤ】「コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング②」 個別ニーズに即した地域へのアプローチによって新たな社会資源を開発していくプロセスを学ぶ。また、コミュニティソーシャルワーク実践のプランニング技法に基づき開発された社会資源を共有する。
15:30~15:45	休憩
15:45~16:30	【講義Ⅱ】「新たな相談支援とコミュニティソーシャルワークを展開するシステム」
16:30	閉会

※一部、都合によりカリキュラムが変更となる場合がありますのでご了承ください。